

会長ごあいさつ



松永 邦夫
(辻久保区)

先日5月17日区長連絡協議会の総会で、会長として区長皆さんからご推薦をいただき、一年間活動することとなりました。

三月に起きた東日本大震災に大きな衝撃を受けました。まさしく日本の地域での繋がりの重要性が問われるものであると思えます。皆さんもご存知のとおり区長連絡協議会としても義援金の取り組みを行ったところです。皆さんから多額のご支援がありました。

このように区長という立場は区民の皆さんに最も近く、区民の皆さんと行政とのパイプ役として重要な立場にあると思っています。合志市となって5周年を迎え、

人口も5万5千人を超え、益々活力のある市として注目をされていると思います。

合志市に住んでよかったという声がたくさん聞こえてくるように、新しく就任された役員の皆さんと共に、尽力して参りたいと思います。

今後とも区長連絡協議会をよろしくお願いいたします。

合志市区長連絡協議会役員

会 長	松 永 邦夫(辻久保)
副会長	犬 童 正洋(杉並台)
理 事	青木定二郎(上 庄)
〃	園 田 康通(外 園)
〃	坂 田 康臣(御 領)
〃	鎌 田 典子(新 開)
〃	後 藤 實雄(須 屋)
監 事	高 見 維房(平 島)
〃	古 河 幹男(榎ノ本)

素敵な人生 素敵なパートナー



男女共同参画
推進懇話会委員

高村 久美子

私は、母子保健推進員として、乳幼児健診やマタニティ学級でお手伝いをしています。

その健診や学級へご夫婦おそろいで出席される人も多く、特にマタニティ学級でおなかの前に重い大きな装具をつけて妊婦体験をされている男性を見ると、大変うれしく思います。

昔から妊娠・出産・育児は母親である女性の仕事でした。

「育児や家事は妻まかせ」という男性は、まだまだ多いと思います。でも、マタニティ

ライフや子育てを共有することは、これから生まれてくる子どもたちにとってはもちろん、ご夫婦にとっても大切なことだと思います。

男性の育児休業が認められ、「イクメン」という言葉も生まれました。オムツを替えたり、お風呂に入れたり、子どもとのスキンシップの楽しさを知れば、喜びもさらに大きくなると思います。

共働き世帯が増えている中、「ママの仕事、パパの役割」ではなく、今できる人が、できることをやる。お互いが思いやりをもって協力し合える男女共同参画の社会の実現は、そんな家庭から職場へ社会全体へと広がっていくのではないかと、思います。